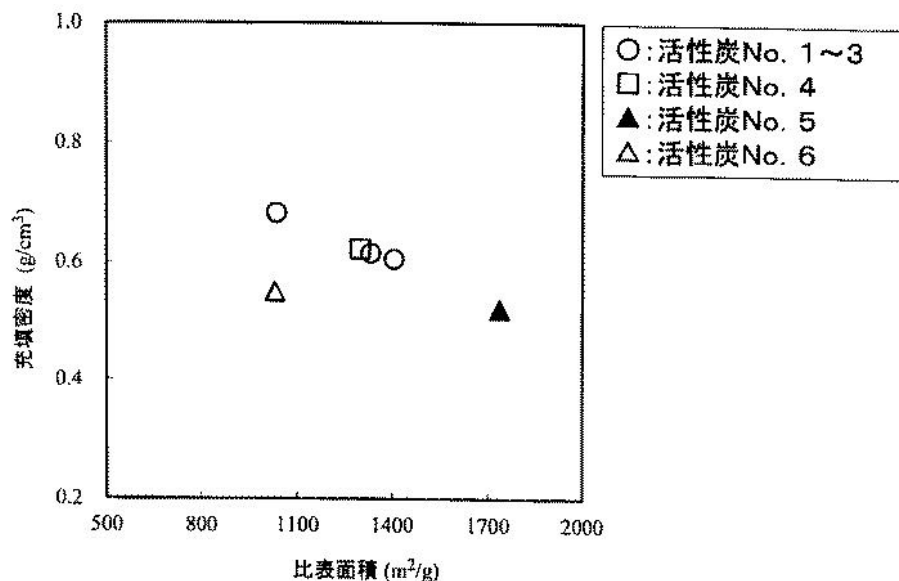


## ケミカル

## メタン吸蔵量を増大し、メタン貯蔵を効率化する活性炭

発明の名称	メタン吸蔵用球状フェノール樹脂活性炭、及びその製造方法、並びに該活性炭を用いたメタン吸蔵材、及び該活性炭を用いたメタン吸蔵方法		
出願人/権利人	関西熱化学株式会社	発明者	塚崎 孝規、天能 浩次郎、大西 寛二
出願日	平成29年9月11日	出願番号	2017-173609
公開番号	2018-47453	特許番号	6757705
法的状態	登録中		

## 代表図

実施例の充填密度(g/cm<sup>3</sup>)と比表面積(m<sup>2</sup>/g)の関係

## 発明の概要

メタン貯蔵効率の向上、輸送技術の効率化に役立つ活性炭

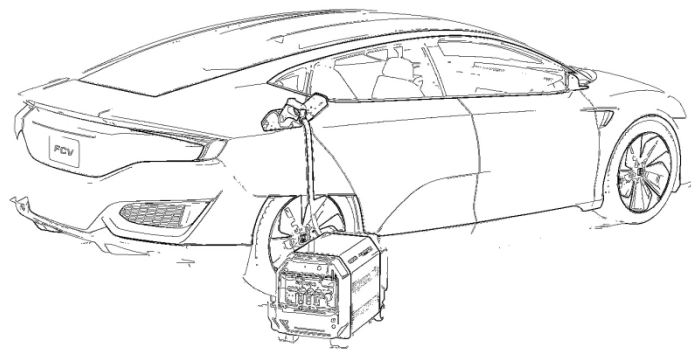
## 特徴

本発明の活性炭は、充填密度、及び全細孔容積との関係で、細孔径0.72nm以下の細孔容積をバランスよく調整した球状フェノール樹脂活性炭である。あるいは充填密度との関係で、細孔径0.72nm以下の細孔容積、及び全細孔容積をバランス良く調整した球状フェノール樹脂活性炭である。球状フェノール樹脂活性炭はメタン吸着量が大きく、また活性炭充填時に高充填密度を有する。したがって、球状フェノール樹脂活性炭を容器に充填して得られるメタン吸蔵材は、従来の活性炭を用いた場合と比べてメタン吸蔵量を大幅に増大できる。

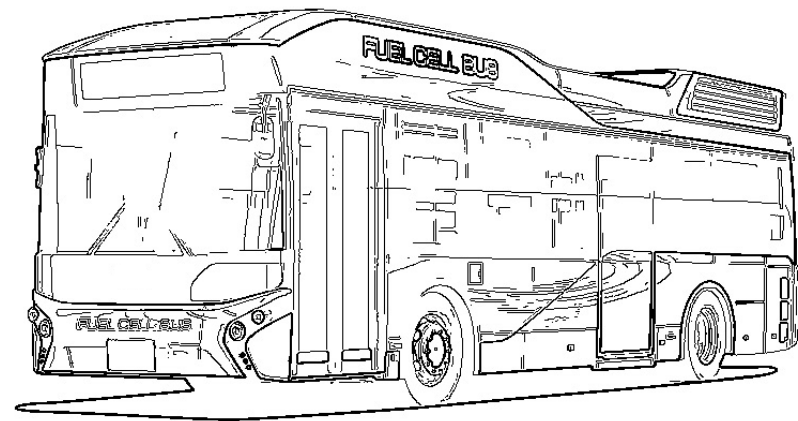
## 関連分野

エネルギー、業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、建設・土木

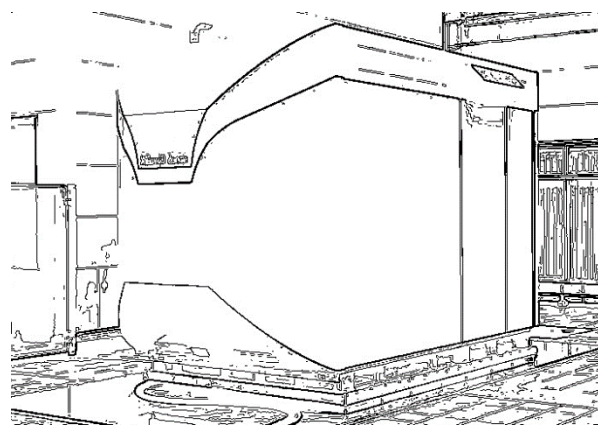
# 応用の可能性



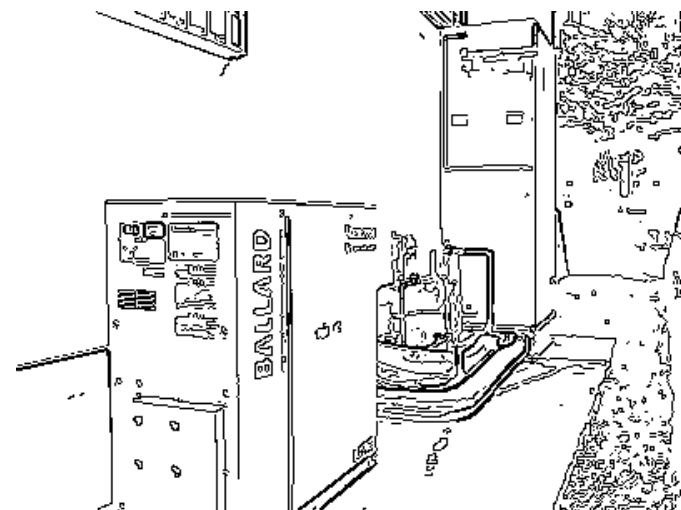
燃料電池自動車



燃料電池輸送車



ビル・工場用燃料電池



家庭用燃料電池

など

## 応用の可能性

- ・燃料電池自動車
  - ・燃料電池輸送車
  - ・家庭用燃料電池
  - ・ビル・工場用燃料電池
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ・トヨタ自動車株式会社     | ・三菱重工業株式会社              |
| ・本田技研工業株式会社     | ・日立造船株式会社               |
| ・日野自動車株式会社      | ・ヤマト・H2Energy Japan株式会社 |
| ・東芝燃料電池システム株式会社 | ・大阪ガス株式会社               |
| ・岩谷産業株式会社       | ・パナソニック株式会社             |
- など

## 関西熱化学株式会社の本発明に関する最新動向

- ・関西熱化学株式会社のホームページには、本件特許に関連する製品情報は見うけられるが、本件特許についての言及は見受けられない( <https://premium.ipros.jp/mcet/product/detail/2000233749/> )。